

## 近衛邸跡

近衛家は江戸時代の終わりまで五摂家の一角を構成していた有力貴族です。池の西側には大きな屋敷と庭があり、御所が火事で焼けた際にはここを天皇が仮住まい（里内裏）としていました。優美な糸桜の木がいくつか植えられていて、初春には多くの人々が訪れます。

孝明天皇は近衛家に行幸された際、この糸桜を褒めたたえ、次の和歌を詠みました。

昔より名にはきけども今日みればむべめかれせぬ糸さくらかな

（詠糸桜和歌巻）